

ワークショップ
東アジアの戦争と歴史認識

◎主催 大東文化大学大学院アジア地域研究科

◎日時 2017年6月3日(土) 午後13:30~17:45

◎会場 東松山校舎 管理棟3階大会議室

プログラム

開会の挨拶と出席者紹介 (13:30~13:40)

第1部 研究発表 (13:40から 5名×25分)

- (1) 黄自進 (台湾・中央研究院近代史研究所教授)
「和解への道の模索——台湾歴史学界の試み」
- (2) 内田知行 (大東文化大学国際関係学部教授)
「重慶爆撃をめぐる訴訟の現状——法廷闘争から見る日本の動向」
- (3) 武田知己 (大東文化大学法学部教授)
「戦争調査会と反省する日本人——敗戦前夜からのオールド・リベラリストの動向に着目して」
- (4) 鹿錫俊 (大東文化大学国際関係学部教授)
「誰が抗日戦の指導者か——中国における公定史観の変遷と朝鮮戦争史観への波紋」
- (5) 中野亜里 (大東文化大学国際関係学部教授)
「ベトナム戦争と中越戦争——ベトナムの中国に対する政策と認識」

第2部 コメントと討論 (16:00から)

- (1) コメント (討論者5名×8分)
井上貴子 (大東文化大学国際関係学部教授)
岡本信広 (大東文化大学国際関係学部教授)
福家洋介 (大東文化大学国際関係学部准教授)
岡崎邦彦 (大東文化大学東洋研究所教授)
田中 寛 (大東文化大学外国語学部教授)
- (2) 総合討論 (教職員および大学院生)